

第51回読響アンサンブル・シリーズ  
《鈴木康浩 生誕50年祭》

読響  
Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

鈴木康浩

読響ソロ・ヴィオラ

5歳からヴァイオリンを始める。桐朋学園大学を卒業後、ヴィオラに転向。宝塚バガ音楽コンクール弦楽部門第1位ほか受賞多数。2001年からベルリンのカラヤン・アカデミーで研鑽を積み、その後ベルリン・フィルの契約団員として、ドイツ各地で演奏を重ねる。帰国後、06年読響ソロ・ヴィオラ奏者に就任。読響とはカンブルラン指揮のベルリオーズ「イタリアのハロルド」、山田和樹指揮の別宮貞雄のヴィオラ協奏曲などでソロを務めて絶賛された。室内楽でも活躍している。



読響メンバーが小編成による室内楽をお届けする人気シリーズ《読響アンサンブル・シリーズ》。今回は、ソロ・ヴィオラ奏者として20年に渡り読響をけん引する鈴木康浩が登場。50歳の誕生日当日に読響メンバーとお届けしたい特別プログラムを披露します。日本有数の音響を誇る音楽専用ホール「TOPPANホール」のわずか408席の贅沢な空間で、読響メンバーによる息のあった演奏をご堪能ください。

**出演** ヴァイオリン＝林悠介、石原悠企、岸本萌乃加、大澤理菜子、川口堯史、小杉芳之、島田玲奈、柳沢開

ヴィオラ＝鈴木康浩(読響ソロ・ヴィオラ)、榎戸崇浩、小山貴之、富田大輔、長岡晶子、長倉寛、三浦克之、森口恭子、渡邊千春

チェロ＝遠藤真理、富岡廉太郎 コントラバス＝瀬泰幸

チェンバロ＝大井駿

一般発売：5月4日(月・祝)  
読響会員優先：4月29日(水・祝)

全席指定：5,000円

**曲目** ドヴォルザーク：弦楽三重奏曲 作品74

J.C.バッハ／H.カサドシュ：ヴィオラ協奏曲 ハ短調 ☆独奏＝鈴木康浩

J.S.バッハ(中原達彦編)：ブランデンブルク協奏曲第3番より第1楽章(ヴィオラ・アンサンブル版)

ブラームス：弦楽六重奏曲第1番 変ロ長調 作品18

19時からプレ・トークあり

《第51回読響アンサンブル・シリーズ》

2026年 8月5日(水) 19時30分開演 **TOPPANホール**

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時～18時・年中無休)

※出演者や曲目が変更になる場合もございます。※チケットは、公演が中止になった場合以外、キャンセル・払い戻しはできません。  
※未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：読売新聞社クリエイター支援基金